

あらかわ 青少年委員だより

第113号

平成21年9月10日

荒川区青少年委員連絡会

荒川区教育委員会事務局

社会教育課

登録(21)0028号

未来ある子どもたちと共に育む 荒川区青少年委員

荒川区青少年委員連絡会ホームページ リニューアルしました!

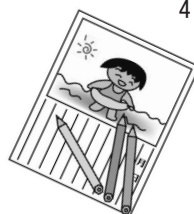
<http://www.arakawa-seishonen.jp/>



6月13日(土)~14日(日)宿泊研修会



4月29日(祝)川の手荒川まつり



この他にも、日帰り研修や、宿泊研修も行っています。これらの研修をとおして自己研鑽に励み、私たち青少年委員と、行政・地域の三位一体で、子どもたちを育んでいきたいと思っています。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

また、6月28日には、東京都発達障害者支援センター主任支援員を講師に迎え、研修会を行いました。発達障がいとは何か、地域活動において私たちが気をつけるべきことは何か、また、地域ができることは何かを、学びました。

また、6月28日には、東京都発達障害者支援センター主任支援員を講師に迎え、研修会を行いました。発達障がいとは何か、地域活動において私たちが気をつけるべきことは何か、また、地域ができることは何かを、学びました。

平成21年度の活動がスタートし、早くも半年が経とうとしています。今期のスローガンである「未来ある子どもたちと共に育む荒川区青少年委員」のもと日々研修を重ね、子どもたちに新たな体験の場を提供し、心も身体も健康に育っていけるよう活動を行っています。



共に育む青少年委員

荒川区青少年委員連絡会

副会長 渡辺 勝子



子どもたちの夢の実現を

サポートする青少年委員

荒川区教育委員会事務局

社会教育課長 佐藤 泰祥

青少年委員の皆様におかれましては、日頃より荒川区の子どもたちの健全育成にご尽力を賜り、深く感謝を申し上げます。

4月に社会教育課長に着任して5カ月が過ぎようとしております。この間、皆様の生き生きと活動されている姿を拝見し、子どもたちに惜しみない愛情をもって接していらっしゃることに感銘を受けております。

また、各ブロックでの活動は、多くの子どもたちが参加する催しや地域に根ざした組織的・継続的な体験活動など、それぞれに特色があり、どれも青少年委員ならではのアイデアや工夫が生かされた活動であると感じております。

さて、私は、地域のスポーツ少年団において子どもたちを指導しておりますが、活動を通して感じるのは、子どもたちの日々の成長と笑顔を見ると心が和やかになり、一日の疲れが吹き飛び、そして元

気が湧いてくるということなのです。

青少年委員の皆様も、荒川区の子どもたちが夢を持って健やかに成長する姿を見ることが、日々の活動の原動力になっているのではないのでしょうか。また、子どもたちにとっても、皆様は貴重な体験をサポートしてくださる大切な存在であり、皆様とのふれ合いは、忘れられない思い出となることと思えます。これからも学校・地域と連携した一層のご活躍にご期待申し上げます。

そして、皆様とふれ合った子どもたちが、将来、様々な分野で個々の輝きを放って活躍してくれること、また、皆様のように青少年育成活動に関わってくださることを願っております。

今年度は、任期の2年目となりますが、皆様には、引き続き荒川区の子どもたちのためにお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。



社会教育課から



生涯学習と地域活動

社会教育課（青少年委員連絡会事務局）

荒川区では平成20年3月に、「区民一人ひとりが幸せを実感できる生涯学習社会の実現」を理念とする「荒川区生涯学習推進計画」を策定しました。計画推進の3つの視点は「学ぶ」「つなぐ」「活かす」。一人ひとりが学び、地域でつながり、さらに学んだことを「わがまち荒川」のまちづくりに活かすことを目指しています。

以前は、個人の楽しみや生きがいとしての生涯学習が主でしたが、近年は、それに加え、地域活動に必要な知識や技術を身につけたい、あるいは学んだ成果を地域で役立てたいと考える方が増えており、荒川区生涯学習推進計画でも「人材育成と地域活動へのしくみづくり」を重点目標の一つとしています。

社会教育課が昨年度から実施している「地域デビュー支援講座」では、「地域で活動し

たいがきっかけがない」といった方に対し、身近な地域について知る機会を提供し、活動に必要な知識や技術を習得していただくとともに、実際に地域で活動する団体の見学等も実施しています。受講者の皆さんは、講座終了後も、今後の主体的な活動についてアイデアを出し合い、共に検討を続けています。

自分自身の学習成果が地域に役立つとなれば、学ぶ喜びは2倍にも3倍にもなるのではないのでしょうか。何か始めてみたいという方は、まずは社会教育課にご相談下さい。そして生涯学習に取り組んでいる皆さん！青少年の健全育成をはじめとする地域活動にデビューして、学習の成果を活かしてみませんか！





一輪車大会

これまでとこれから

校庭及び施設利用部長

鈴木 正彦

●「一輪車大会」のこれまで

今年も「一輪車大会」が間近に迫ってきました。関係機関とも連絡を密にしながら、楽しく安全に大会が実施できるよう、準備を進めているところです。

小学校の校庭利用の活動に一輪車が導入されるようになったのは、平成に入って改定された学習指導要領の中で、3・4年生の体育の「からだづくり」の項に挙げられてからです。学校教育からの働きかけということもあり、各学校で一輪車の導入が進んでいきました。それまでも、青少年委員連絡会として、放課後の校庭利用についてはさまざまな取り組みがなされていきましたが、一輪車について、子どもたちの目標になればということで、平成3年に第1回の「一輪車大会」が行われたわけです。

●大会運営について・・・

昨年度は、残念ながら台風の影響で中止にせざるを得ませんでした。年1回、子どもたちが楽しみにしている大会を実施できなかったことは、私たちとしてもたいへん辛く、苦しいものでしたが、大会の運営について見直すよい機会

ともなったのではないかと思います。

例えば、青少年委員の仕事の中には、「指導者の育成」というものがあります。各小学校のPTAの皆さんや、地域の皆さん、一輪車大会を卒業していった子どもたちなど、さまざまな人に大会運営にかかわっていただくことによって、校庭利用の活性化につながるという思いがあります。

すなわち、多くの方に一輪車大会の運営にかかわっていただくことで、それを各地域、各学校に持ち帰って、広くて安全な校庭を利用して練習したり、小さな大会を開いていただいたりということにつながればと願っているわけです。日々の事業に追われがちな私たちですが、指導者が増えることによって校庭利用が活性化され、子どもたちの生き生きとした毎日に役立つことは、私たちの大切な仕事であると思うのです。

●今年度の「一輪車大会」

今後の大会運営について、具体的な案も少しずつ出てきています。

今年度は、昨年度のように急な天候の変化にみまわれても楽しい大会ができるよう、別の日程での実施を予定しています。体育館を使用しますとの、安全上の問題もあり、屋外の運動場と全く同じ競技を行うことはできませんが、屋内でも安全に楽しめるような競技を用意し、準備を進めています。

●私たちにできること

私たち校庭及び施設利用部会では、校庭だけではなく区内にあるさまざまな施設利用についても支援活動をしています。区内には実にさまざまな施設があります。私たちは今後も「そこで何ができるか」を考え、利用される皆さんに投げかけていきたいと考えています。その一つが、この一輪車を通じた活動ということになります。

一輪車は、乗ることが出来る場所に限りがありません。危険な場所での練習は絶対に避けなくてはなりません。校庭は、安全・安心な場所。一輪車の練習ももちろんですが、子どもたちの居場所としてどんどん使ってもらいたい。私たちは今後もそのための支援をしたいと考えています。



宿泊研修会

6月13日(土)・14日(日)、荒川区立清里高原ロッジ・少年自然の家で宿泊研修会を行いました。

主な研修内容は、バター・アイスクリーム作り、追跡ハイキング、キャンプファイヤー、ピロピロ、キャンドルファイヤー、牛乳パックでホットドッグ作り、野外炊きさんなどでした。



「宿泊研修会を終えて」

調査研修部 中條 勉

青少年委員の意義と役割も分かり、後輩委員ができた今期、気がつけば、時に厳しく、時にやさしく、いつも背中を押してくださった先輩委員の退任が迫っています。「しっかりとその意志を受け継いで、これからは我々が発展させ、伝えていかないと(正直、あせってます...)」そんな気持ちですが、今回の宿泊研修会のスケジュールを過密にしてみました。

初めて任された研修の企画。戸惑いとひらめきが交差する中、仲間と先輩の笑顔、そして、研修の成果を各ブロックで発揮し、子どもたちの歓声に包まれる青少年委員のイメージが、次から次へと浮かんできて、どんどん引き込まれていきました。

調査研修部員という立場を利用して、自分のまだ経験していないこと、もっと知りたいことを網羅した企画を受け入れ、そして実践してくださった先輩委員。また、今回の研修に参加してくれた多くの仲間たちに、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。(俺も少しは成長できたかなあ...?)

チャレンジ共和国

チャレンジ共和国が、5月17日(日)・24日(日)・6月21日(日)・28日(日)に、生涯学習センターにおいて開催されました。

青少年委員は、子どもの班に付いてリーダーをサポートしました。

さくら教室校外学習

5月24日(日)、さくら教室の校外学習で茨城県自然博物館(茨城県坂東市)に行ってきました。



あいにくの雨模様で野外観察はできませんでしたが、広くゆったりとした館内と、工夫のこらされた展示で、楽しい時間を過ごすことができました。



東京都青少年委員会連合会定期総会

5月30日(土)、東京都美術館講堂で開催されました。

総会修了後、保護司の藤田志津氏による「子どもたちの未来を信じて」と題した講演がありました。



わんぱく相撲荒川区大会

「つよく!やさしく!たくましく!地域でつくる荒川のOMOIYARI」

5月16日(土)、荒川総合スポーツセンターにおいて、小学生(1〜6年生男女)383名の熱い戦いが繰り広げられました。

青少年委員は1年生予選(午前中)の土俵を担当し、子どもの誘導や勝敗の管理を行い、無事ベスト8が出されました。

続く東京都大会(国技館)では、個人戦で6年生代表の選手が準優勝、団体戦では優勝という快挙を達成し、8月2日(日)に、全国大会に出場しました。



青少年委員研修会

「発達障がい」の基礎

「地域ができることは何か」6月28日(日)、生涯学習センター大会議室で行いました。

子どもに関わる機会の多い地域の方にも声をかけ、東京都発達障害者支援センター主任支援員の方に、基礎的解説や対応について事例紹介を交えたお話をしていたいただきました。

最後の質疑応答は、時間が足りないほど活発に行われ、発達障がいに対する関心の高さが感じられました。



編集後記

7月22日(水)、46年ぶりの皆既日食が見られ、「常なることはない」ことを実感しました。青少年委員活動も、時代にあわせて変化していくことと思えます。その一歩として、ホームページも、今夏リニューアルしました!

